



校長室だより

第 2 7 号

令和3年10月13日(水)

大崎市立沼部小学校

校長 吉田 浩之

2学期もよろしくおねがいします

2学期が始まりました。100日間の2学期もどうぞよろしくお祈りします。

2学期の始業式を校内テレビ放送で行いました。今回は30秒で次のように話しました。

今日から2学期が始まります。2学期は今の学年のまとめに向かって力を発揮するときです。そして、次の学年に向かって十分力を蓄えるときでもあります。

ぬまっこのいいところ、

○ あきらめずに最後まで頑張ることができること。

○ 声を掛け合って協力して活動できること。です。

いいところをさらに伸ばして、ぬまっこの目標に向かって頑張りましょう！

ぬまっこの目標は、担任の先生と、改めて確認してください。

始業式では各学年の代表のお友達が発表しました。1年生：富田大翔さん、2年生：遠藤咲さん、3年生：鎌田希空さん、4年生：亀卦川寧音さん、5年生：宮川理想さん、6年生：佐藤留香さんでした。少し緊張した様子もありましたが、2学期に頑張りたいことなどについて、堂々と発表しました。事故等なく、2学期を迎えられたことうれしく思います。休み中の御協力に感謝申し上げます。

学芸会について

9月27日付けでお知らせしたとおり、今年の学芸会は中止の決定をしました。現在県内の新規感染者数は減少傾向にあり、ここ数日は感染者数が一桁や0という日が続いています。まん延防止等重点措置も解除され、もしかしたら学芸会を実施できたのではと思うかもしれませんが。実施の検討を始めたころから、観覧者の人数制限をし、学年ごとに完全入れ替え制で実施しようという計画で進めてきました。練習期間等を考慮すると、9月末には実施有無の判断をしなければなりません。話し合いをしたころは、大崎市内で小・中学生の感染も確認されたということもありました。先生方と学芸会の実施について、徹底的に話し合いをしました。

話し合いでは、行事で子供たちは大きく成長すること、可能ならば実施したい、というのが先生たちの本音でした。ただ、実施するにあたっては様々な配慮が必要だ、という意見が多かったのです。

しかし、人数制限をしても体育館に入る人数が、演技する子供たち、係の子供たち、教職員、保護者を合わせると200人規模になります。人が集まれば感染拡大を防ぐことが難しくなります。換気のため、暗幕を張ることができず、演出効果も期待できません。また、常時マスク着用を原則としていますので、演技もマスクをして行うことになります。マスクをしたままでは、歌を歌うこともできず、見せるという視点で考えると、演目のレベルが下がってしまいます。表情も分からないし、声も通らない。このような中途半端な状態で発表することが、本当に子供たちのためになるのだろうか、という結論に達しました。

子供たちの活動の様子を見る機会が減っている中、学芸会を楽しみにされていた方も多いと思いますが、どうぞ御理解いただきますようお願いいたします。